

# 余剰ストックを社会的ニーズに合わせてリノベーション(再生)

## — 常陸太田特別支援学校 —

余剰ストック\*を有効活用し、①既存建物の大規模改修と②増築による施設整備を行うことにより、特別支援学校の児童生徒の急増に対応します。 ※廃校となった旧常陸太田市立瑞竜小学校

### ① 大規模改修 (既存校舎)

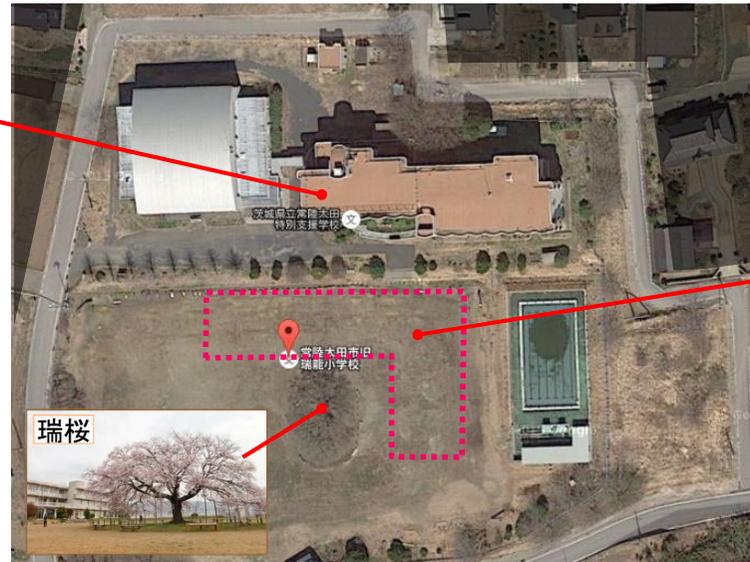
平成27年2月完成 (→ 4月開校) 済

【延べ面積】 2,315.11㎡

【構造・階数】 RC造・地上3階

特別支援学校として必要な機能を満たすため、小学校として使用されていた校舎全体のバリアフリー化、トイレの改修を行い、エレベーターも増設しました。

また、余剰ストックの活用により、新築の場合の約3割の費用で整備ができました。  
(新築想定) 約6.2億円 → 約2億円



### ② 増築 (新校舎)

平成28年2月完成 (→ 4月開校) 予定

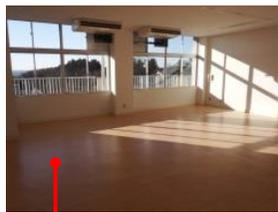
【延べ面積】 3,085.82㎡

【構造・階数】 RC造一部S造・地上2階

校庭中央に位置する地域のシンボルでもある桜の木(瑞桜)の眺望に配慮したL字型の建物としています。

平面計画は、ユニット(4~6教室、多目的室、トイレ)を複数構成することにより、将来的な生徒数の増加や授業形態の変化にも対応できるよう配慮しています。

また、天候に左右されずに安全な登下校ができるように、大屋根をかけたバスロータリーを設置します。



教室・ホール内装改修



エレベーター増設  
(車いす対応)



トイレ改修  
(バリアフリー)

《参考》本県の児童生徒数の増加に伴う、特別支援学校の教室の確保は喫緊の課題となっています。



出典：第2期県立特別支援学校整備計画 (H27.3茨城県教育委員会)

当事業が、不足教室の解消に寄与します。  
H27一部開校により9、H28全面開校により5 (計14室)



完成イメージ